

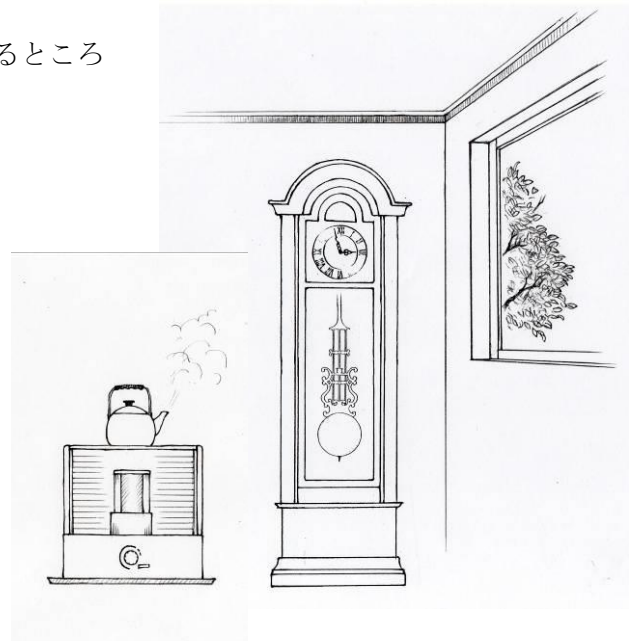
## ホールクロックをお使いいただくときの注意点

### 全般

水平な場所に設置し、グラつく場合はケースの足元に紙等を入れて調整してください。  
地震の備えを兼ねて、上部より丈夫な壁面等に転倒防止の対策をとるようにしてください。

次の様な場所での使用はおやめください

- 振動が伝わる場所
- 直射日光があたり場所
- 空調機の吹き出し口からの風が直接当たる場所
- ストーブの近く
- 湿気や埃の多い場所



時計を触るときは白い手袋等を使用し、直接素手で触らないようにしてください。特に真鍮部分・文字板はサビの原因となりますので注意してください。

日常のお手入れは、木部・金属部分は乾いた布で静かに拭き取ってください。アルコール・シンナー等、揮発性溶剤は使用しないでください。ガラス部分の汚れがひどい時は市販のガラス用洗剤を使用して拭いてください。

機械式時計は機械内部潤滑油の劣化・汚れに伴い、定期的なメンテナンスが必要となります。前回のメンテナンスより5年以上経過した場合、オーバーホール等ご検討ご相談ください。

### 基本サイクル

錘が3本ついているホールクロックは、一度錘を巻き上げると約1週間動きます。若干のズレはありますが3本同じように下がってきます。下がりきってケースの底につくと、時計は止まります。

日常お使いであれば、毎週の決まった曜日に錘を上げるようにすると、時計が止まらずに動き続けます。

この時に次ぎ2点のことを行ってください。

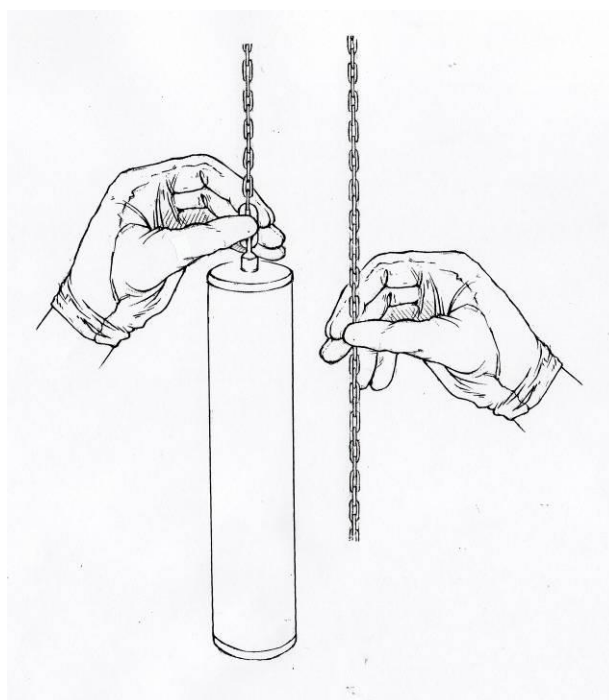
1. クォーツ又は電波時計等で正確な時刻を確認して合わせてください。
2. 1週間でどのくらいの誤差が生じているか確認し、必要に応じて振り子にて調速してください。

### 錘を上げる時の注意

白い手袋等を使用し、直接素手で触らないようにしてください。チェーンのみで下へ引くのではなく、錘の上部のフック部分を片方の手で持ち上げながら、同時にもう片方の手でチェーンを下に引いてください。(チェーンの負担を軽減させるため(切れ防止))

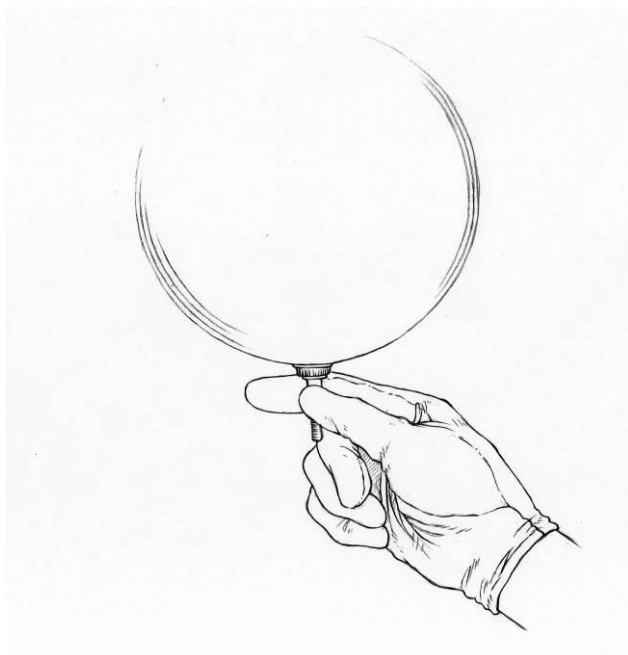
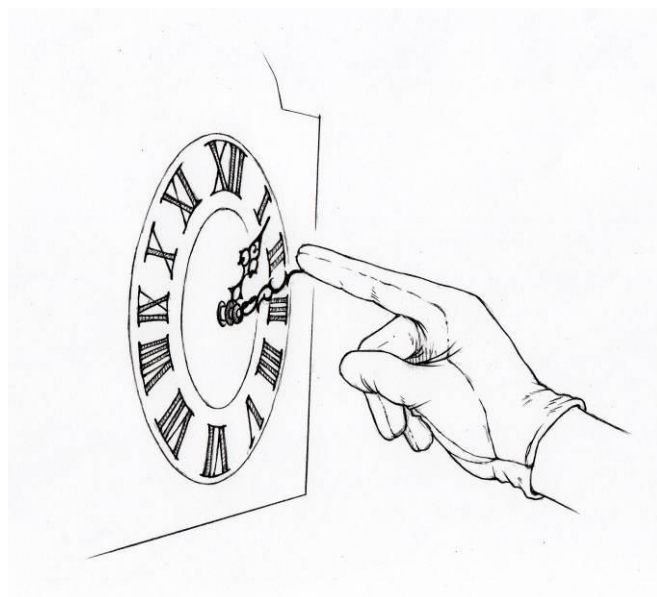
錘を上げ過ぎてしまうと、機械に挟まり故障の原因となります。で3本共同じ高さにて止めてください。又、錘がチェーンから外れないようにご注意ください。

ワイヤー式の機械は、錘には触れず巻鍵にてゆっくり確実に巻き上げてください。急いで回すと、ワイヤーのよじれ・キンクの原因になります。チェーン式同様錘上部が目視で確認できる程度で止めるようにしてください。



### 針の合わせ方

長い針の先の部分を指先で押すように回してください。この時、指で短い針や文字板に触れたり、針を曲げたりしないよう注意してゆっくり確実に回してください。微調整以外は逆廻しはしないでください。時打ちやチャイムをすべて聞きながら回さなくても、一度に目的の時刻まで回しても大丈夫です。この後2時間程度、時打ちやチャイムの回数が合わなくなることがありますが、自動で正確な回数に戻ります。



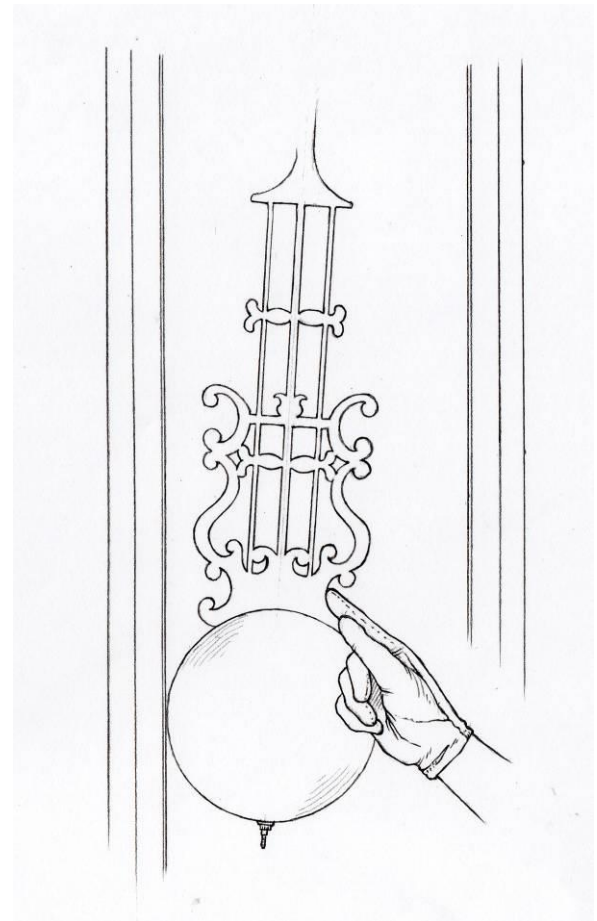
### 調速のしかた

振子の振玉下部にある調整ネジで遅れ進みの調整をすることができます。調整するときは、振棹をもって調整ネジを回してください。白い手袋等を使用し、直接素手で触らないようにしてください。振子に向かって右へネジを回すと（振玉が上がります）時計は進み、左へ回すと（振玉下がります）反対に遅れます。目安としてネジ1回転で1日30秒の調整とお考えください。

1日1日で誤差を調整するのではなく、1週間程度でどの位誤差が生じるか確認して、1日の平均誤差を調整の目安としてください。

### 振子が止まった時の復旧の仕方

錘が床についたり、強い振動が伝わった時に時計は止まります。（振子は止まります。）再度始動させる時は、白い手袋等を使用し、直接素手で触らないようにしてください。まず錘を3本とも上まで巻上げます。次に振り子をふりますが、振玉を持ちケースの左右どちらかの側板ぎりぎりまで押して静かに放して振って下さい。振り方が小さいと止まりやくす、精度も悪くなります。規則的な音と一緒に往復運動していることを確認したら、針のあわせかた・月齢の合わせかたを参照して時刻を合わせてください。振子の上部は固定されておらず、引っかけているだけです。振子を持ち上げると外れてしまいますので注意して下さい。



### 月齢の合わせかた

月齢ダイヤルは太陰暦（旧暦）の1か月、即ち太陽暦の29.5日を1か月とした刻みがついています。まず、旧暦の何日か調べてください。月齢ダイヤルを軽く手で押さえて回し新月（月が完全に隠れた状態）に合わせてください。ダイヤルが動かないときは時計の針を5～6時間進めると動くようになります。旧暦の日より1日少ない数だけ月齢ダイヤルを右に回してください。“カチッ”という音が1日となります。時計の針を回して、12時頃に月齢ダイヤルが変わることを確認し、正確な時刻に合わせてください。午後の場合は12時間すすめてから時刻を合わせてください。

### スリーチャイムの使い方

文字板の右側若しくは機械内部に3曲切り替えレバーが付いている機種があります。一般的にはウエストミンスター・ウィンチェスター・ウィットティングトンの3曲が装置されています。お好みの曲にセットしてご使用ください。サイレント表示がある機種はサイレントにあわせると、時打ち・チャイムは一切鳴りません。3本の錘の左右2本の錘は下がらなくなります。チャイム演奏中にチャイムの切り替えは絶対にしないでください。故障の原因となります。

### 移動するとき

ホールクロックを移動するときは、ご相談ください。同一室内でケースを倒すことなく移動させたい場合は、必ず錘・振り子を外してから静かに移動してください。移動後はケースの安定性を確認してから、錘・振り子をもとの通りに設置してください。錘は3本同じではありません。一番重い錘を右側にかけてください。その他機種により違う場合がありますので、外す前に記号番号左中右等で分かるようにしておいたほうが良いです。

日常お使いいただくための使用方法、及び注意点を簡単にまとめさせていただきました。その他ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

時計修理相談室浜松町本店

105-0013

東京都港区浜松町 1-22-7 鶴栄ビル 1階

TEL : 03-6826-8507

FAX : 03-6826-8117

URL : <http://montre.co.jp>

Mail : [info@montre.co.jp](mailto:info@montre.co.jp)